

---

**ADVANTEST®**

株式会社アドバンテスト

---

取扱説明書

TR47503

パワー・サプライ

---

---

---

MANUAL NUMBER 47503 0B00 810

---

当社の製品が外国為替および外国貿易管理法の規定により、戦略物資あるいは役務等に該当する場合、輸出する際には日本国政府の許可が必要です。

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

関連マニュアル一覧表

関連マニュアル一覧表

番号	名	称	備	考
TR4251	パタン・ジェネレータ	取扱説明書		
TR4751	ロジック・アナリシス・システム	取扱説明書		
Q5452	CCD アナリシス・システム	取扱説明書		
TR57503	パワー・サプライ	取扱説明書		

TR47503  
パワー・サブライテム  
取扱説明書

1. 目次

目次

1. 概説

1.1	この取扱説明書の使い方	1 - 1
1.2	製品概要	1 - 2
1.3	使用開始の前に	1 - 3
1.3.1	外観チェックおよび付属品の確認	1 - 3
1.3.2	使用周囲環境	1 - 3
1.3.3	セット・アップ	1 - 4

2. 操作方法

2.1	パネル面の説明	2 - 1
2.1.1	正面パネル	2 - 1
2.1.2	リア・パネル	2 - 3
2.2	出力コネクタ	2 - 4
2.2.1	出力コネクタ信号表	2 - 4
2.2.2	TR47502 用外部電源ケーブル信号対応表	2 - 5
2.3	操作	2 - 8

3. 保管および輸送について

3.1	保管	3 - 1
3.2	輸送	3 - 1

4. 性能諸元 4 - 1

5. 動作説明

5.1	全体の機能ブロック	5 - 1
5.2	電圧源発生ユニット・ブロック図	5 - 2

図一覧	F - 1
表一覧	T - 1
例一覧	E - 1

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

1.1 この取扱説明書の使い方

---

## 1. 概説

### 1.1 この取扱説明書の使い方

アドバンテストの製品をご購入頂きましてありがとうございます。この取扱説明書は、TR4251パタン・ジェネレータおよびTR4751ロジック・アナリシス・システムのアプリケーション・モジュールであるTR47502 MOSドライバの外部電圧源として製品化されたTR47503パワー・サプライについて説明、編集されております。本器と接続機器との関係、取扱方法は該当項目ごとに説明してありますが、詳細な説明はそれぞれの機器の取扱説明書を参照して下さい。

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

1.2 製品概要

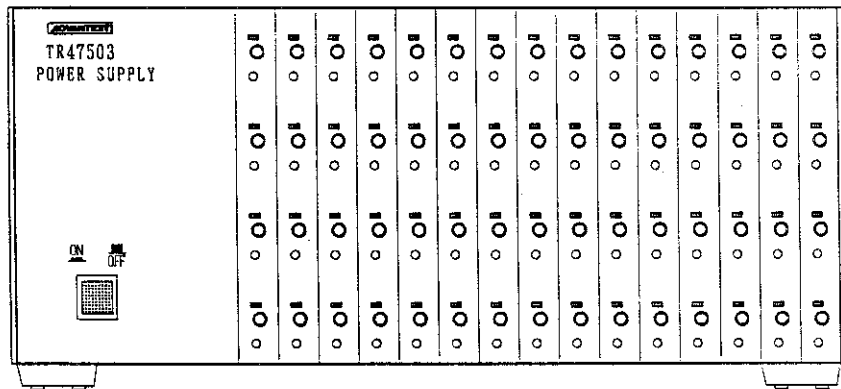
1.2 製品概要

本器TR47503 パワー・サプライはTR47502 MOS ドライバ用多チャンネル外部電圧源として製品化されたものです。専用ケーブルでTR47502 と接続し、TR47502 側のドライバ回路部に直接印加される電圧源です。

各々独立した4チャンネルの電圧源を1ユニットとし、15ユニット、すなわち60チャンネルの電圧源として構成されています。

電圧調整はフロント側の多回転のつまみにより、簡単に設定することができます。また出力は $\pm 20 V_{max}$  まで自由に変更できるフローティング電圧源となっており、各チャンネルが単独で使用できます。

なお、本器はTR47502 MOS ドライバとの接続を考慮して作られており、1ユニット単位で、出力コネクタを25ピンのDサブ・コネクタを使用しております。ただし、外部接続機器とは特殊なコントロールは行なっておりませんので汎用の60チャンネル電圧源としても使用可能です。



本器の特長

- ① 60チャンネル電圧源
- ②  $\pm 20 V_{max}$  可変電源
- ③ 各チャンネル独立のフローティング電源
- ④ フロント・パネル面の多回転つまみは簡単なマニュアル設定

### 1.3 使用開始の前に

#### 1.3.1 外観チェックおよび付属品の確認

本器を受領されましたら、製品の外観を点検し、輸送中のきず、破損がないかをチェックして下さい。また、標準付属品の数量および規格を以下の〔表 1-1〕によって確認し、それぞれきず、破損、付属品の不足などがありましたら、最寄りの営業所または弊社CE本部フロント係（横浜CEセンタ内）へ連絡して下さい。連絡先リストは巻末にあります。

表 1-1 TR47503標準付属品

品名	型名	ストックNo	数量	備考
電源ケーブル	MP-43A	DCB-DD0717A	1	
DRV 外部電源コードA	A04703-35	DCB-SS2452X01A	2	TR47502 STRB用
DRV 外部電源コードB	A04703-36	DCB-SS2332X01A	2	TR47502 DRV 用 6本 予備 1本
取扱説明書	—	J45803	1	和文
	—	E45803		英文

（お願い） 付属品の追加ご注文などには、型名（またはストックNo）でご用命下さい。

#### 1.3.2 使用周囲環境

- (1) 埃の多い場所や、直射日光、腐食性ガスの発生する場所での使用は避けて下さい。また周囲温度は+5℃から+40℃の範囲の、湿度85%以下の場所で使用して下さい。
- (2) 本システムは内部の温度上昇をさけるため装置背面に冷却用ファンを使用しています。このファンは吐き出しタイプです。周囲の通風に注意し、背後の壁や物から10cm以上離して下さい。とくに装置の背後に密着して物を置いたりしないで下さい。
- (3) 本システムはAC電源ラインの雑音に対して十分に考慮した設計がなされていますが、できるかぎり雑音の少ない環境で使用して下さい。雑音が避けられない場合は雑音除去フィルタなどを使用して下さい。
- (4) 振動の多い場所での使用はさけて下さい。
- (5) 本器の保存温度範囲は-10℃～+60℃です。本器を長時間にわたって使用しない場合はビニールなどのカバーを被せるか、または段ボールに入れ、直射日光の当たらない乾燥した場所に保管して下さい。

TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

1.3 使用開始の前に

1.3.3 セット・アップ

本器は付属の専用接続ケーブルでTR47502 MOS ドライバと接続して使用します。正面パネルのPOWER スイッチがOFF、背面パネルの電源コードがコンセントから抜かれていることを確認してから以下の作業を進めて下さい。なお、接続機器側の電源もすべてOFF になっていることを確認して下さい。背面パネルのCH-1~CH-15 のDサブ・コネクタ部にDRV 外部電源コネクタA04703-35, 36 を接続して下さい。

① A04703-35

本接続ケーブルは二股のケーブル方式となっています。Dサブ・コネクタの25ピン側を本器 (TR47503) へ、15ピン側をMOS ドライバ (TR47502) のストロープの外部電源入力PS部に接続して下さい。

なお、TR47502 PS部側のDサブ15ピン・コネクタ側は2 つあり、ケーブル銘板No. "1", "2" が貼ってあります。No. 1, 2 の順でTR47502 のストロープ番号の若い順番で、47502 のストロープ番号の若い方から接続して下さい。

TR47502 基本構成のストロープ4 チャンネルの場合はA04703-35, 2本で接続できます。

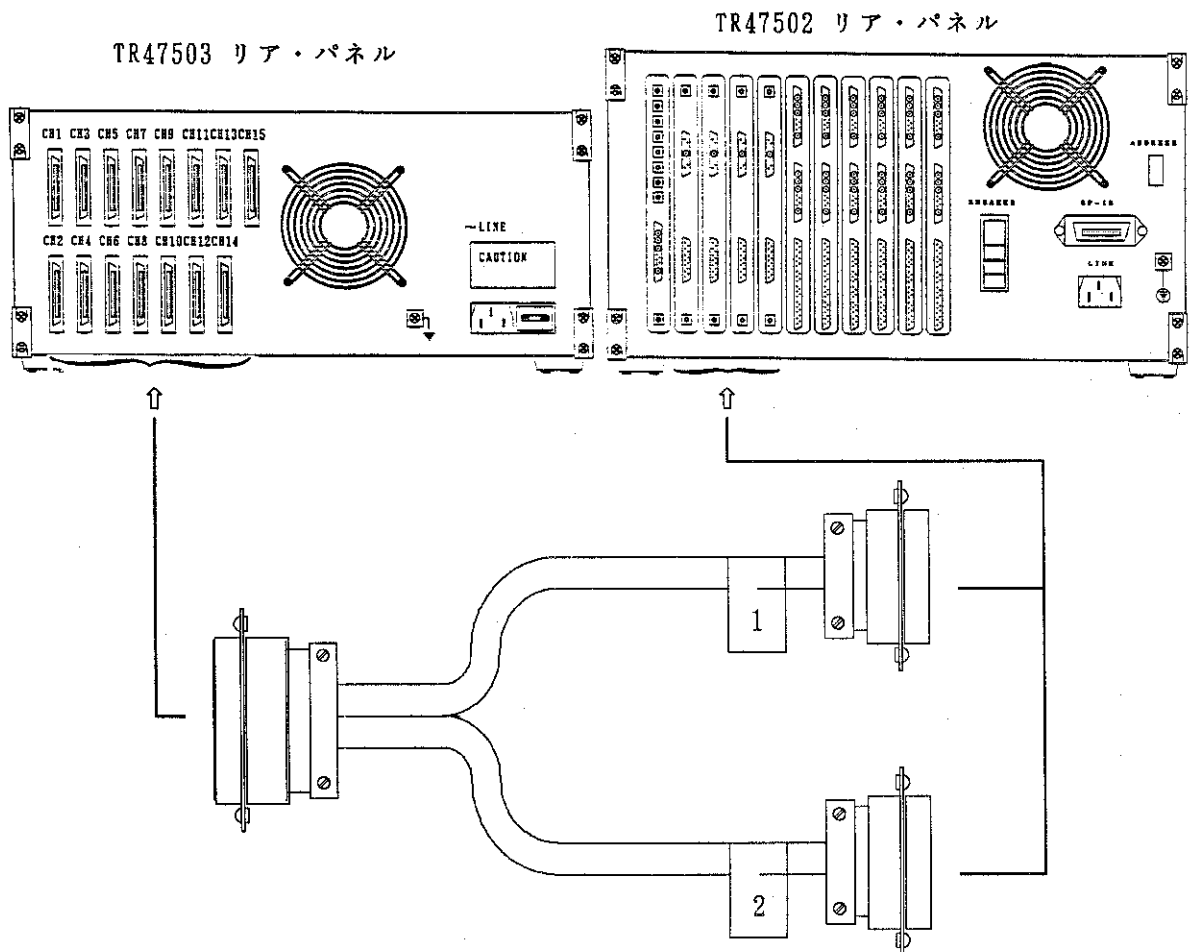


図 1-1 DRV 外部電源コードA (A04703-35) の接続

TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

1.3 使用開始の前に

② A04703-36 (TR47502 DRV-01/02用)

本接続ケーブルは二股のケーブル方式となっています。コネクタはすべて25ピンDサブ・コネクタとなっています。

ケーブル銘板No. “1”, “2” が貼ってある方のコネクタを本器(TR47503)へ、他方をMOS ドライバ(TR47502)のDRV-01/02の外部電圧源入力PS部に接続して下さい。

なお、本器への接続はNo. 1, 2の順でリア・コネクタ部のチャンネル番号の若い方から接続して下さい。

TR47502 基本構成の場合はDRV-01/02 への接続は 6本で接続できます。

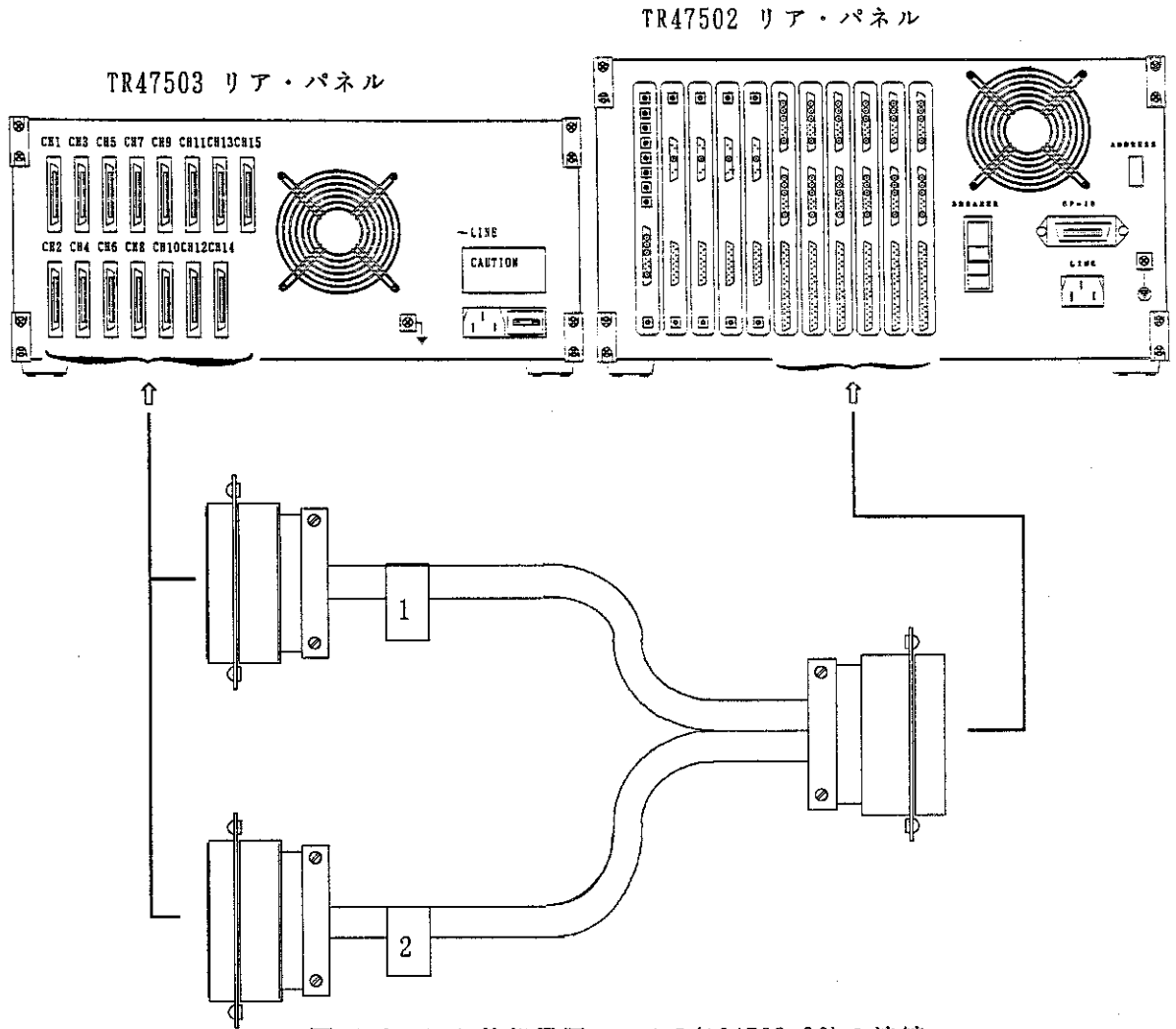


図 1-2 DRV 外部電源コードB(A04703-36)の接続

- ③ 標準構成のTR47502 との接続を①、②の手順に従い、番号の若い順に接続して行きますと各ドライバの配列に従った順序で接続することができます。  
 なお、標準的な配列に従わない任意の接続も可能です。



● 電源ケーブルについて

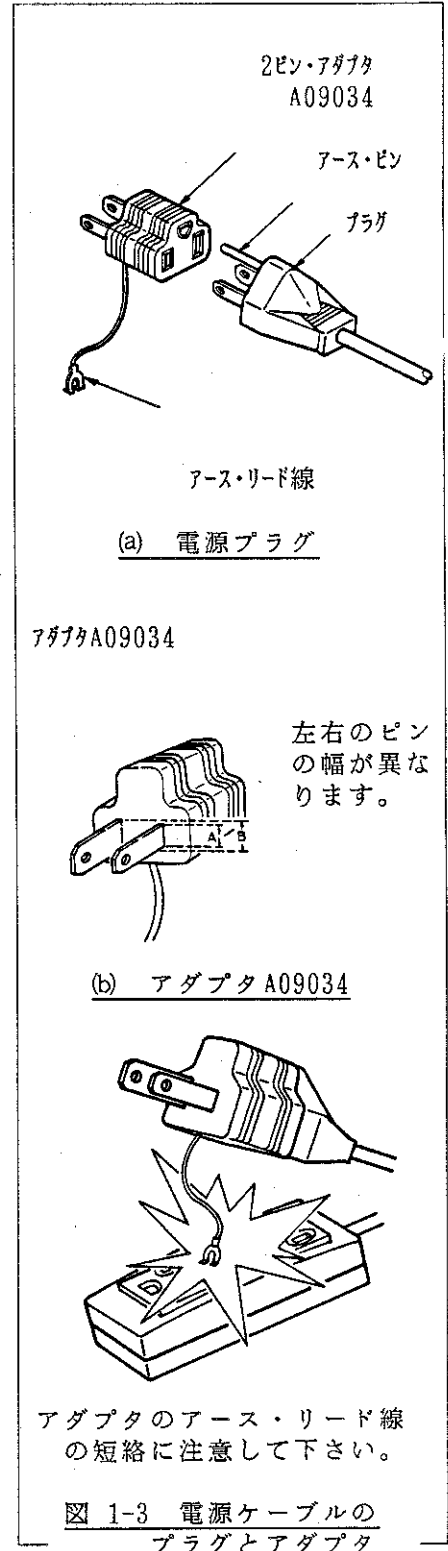
電源ケーブルのプラグは3ピンになっており、中央の丸い形のピンがアースになっています。

2ピン・アダプタを使用してコンセントに接続するときは、アダプタから出ているアース・リード線または本体背面パネルにあるアース端子のどちらかを、必ず外部のアースと接続して大地に接地して下さい。

このアダプタA09034 (KPR-18) は、電気用品取締法に準拠しています。2本の電極の幅は〔図1-4 (b)〕に示すように異なっておりますので、コンセントに差込むときは、プラグとコンセントの方向を確認して接続して下さい。A09034がご使用のコンセントに接続できない場合は、別売のアダプタKPR-13をお求め下さい。

注 意

電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込むときは必ずパワー・スイッチがOFF となっていることを確認して下さい



## 2. 操作説明

### 2.1 パネル面の説明

#### 2.1.1 正面パネル

正面パネルに配置してある表示機能、調整用ツマミなどの操作方法について説明します。

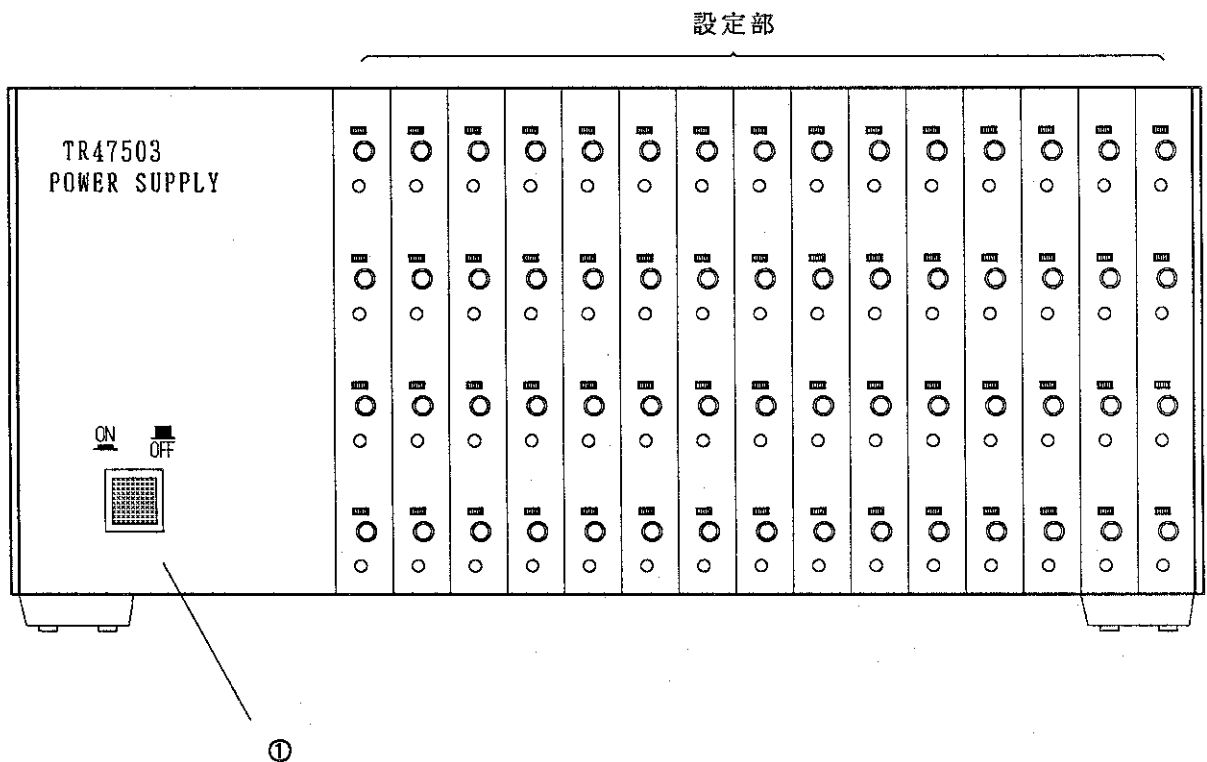


図 2-1 TR47503 正面パネル

#### (A) POWER 部

##### ① POWER スイッチ

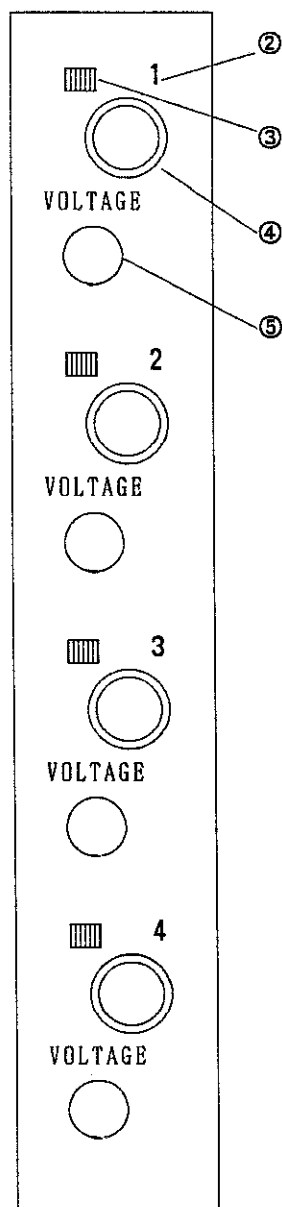
このスイッチは本器のメイン・スイッチです。電源をON/OFFします。POWER スイッチがOFFになっていることを確認してから電源プラグをACコンセントに挿入して下さい。接続されるMOS ドライバTR47502 も同様です。

TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

2.1 パネル面の説明

(B) 設定部

本器は4チャンネル/1ユニット×15ユニットの60チャンネル構成になっております。同様に、フロント・パネルの設定部は4チャンネル/1パネルの15パネル・ブロック構成になっております。



- ② チャンネル番号  
1ユニット内のチャンネル番号です。1～4チャンネルまであります。
- ③ LED表示  
多チャンネル電圧源であるため調整箇所の判断を簡単にするための調整チャンネル誘導用LED表示です。点灯により該当チャンネルを表示します。MOSドライバTR47502と接続して使用する場合は、モニタ・チャンネル機能により該当チャンネルが自動的に点灯します。
- ④ MAIN ADJ  
電圧調整用ツマミです。10回転タイプで約+20 Vmax～-20 Vminまで連続して変更できます。
- ⑤ SUB ADJ  
電圧調整可変範囲の制限用ボリュームです。調整箇所がパネル面より奥に位置しています。マイナス・ドライバで変更します。  
製品出荷時には電圧調整範囲は最大の約±20Vとなるように設定されています。

②～⑤の機能が4チャンネル分配置されています。

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

2.1 パネル面の説明

2.1.2 リア・パネル

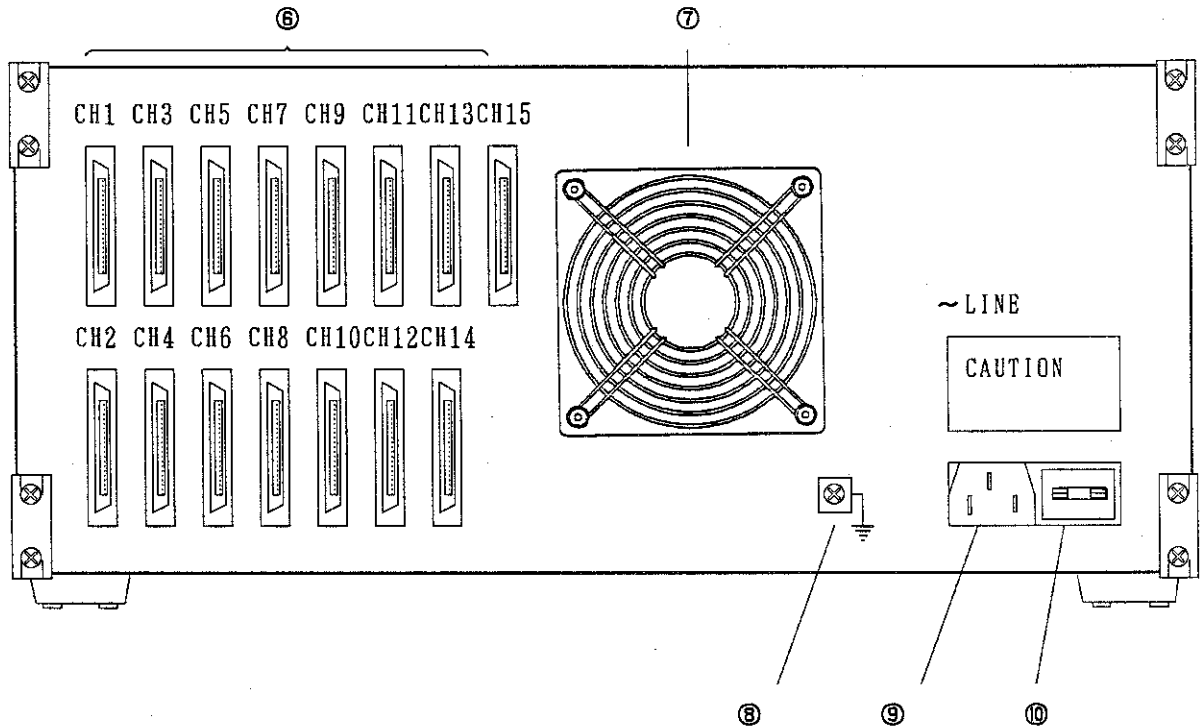


図 2-2 TR47503背面パネル

- ⑥ 出力コネクタ  
本機の60チャンネル分の出力コネクタです。4チャンネル/1ユニットの構成同様、4チャンネル出力/1コネクタの15箇所構成となっています。使用コネクタは25ピンDサブコネクタを使用しています。
- ⑦ 空冷用ファン  
吐き出しタイプのファンです。使用時は周囲のスペースを十分に取り、冷却効果を保ってください。
- ⑧ アース端子  
ACコンセントへの電源ケーブルの接続において、止むを得ずアースなしの2ピンコンセントを接続して使う場合にここから大地接地して下さい。
- ⑨ LINEコネクタ  
保護ヒューズが付いています。所定の規格のヒューズを使用して下さい。付属の電源ケーブルを接続します。
- ⑩ ヒューズおよび電源電圧設定カード

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

2.2 出力コネクタ

2.2.1 出力コネクタ信号表

表 2-1 出力コネクタ信号表

名称	ピン番号		名称
OUTPUT1	1	14	OUTPUT1
GND	2	15	GND
OUTPUT2	3	16	OUTPUT2
GND	4	17	GND
OUTPUT3	5	18	OUTPUT3
GND	6	19	GND
OUTPUT4	7	20	OUTPUT4
GND	8	21	GND
GND	9	22	LED1
GND	10	23	LED2
GND	11	24	LED3
GND	12	25	LED4
—	13		

コネクタ：25ピンDサブ・コネクタ  
LED 1～4 はGND と短絡することにより点灯します。

TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

2.2 出力コネクタ

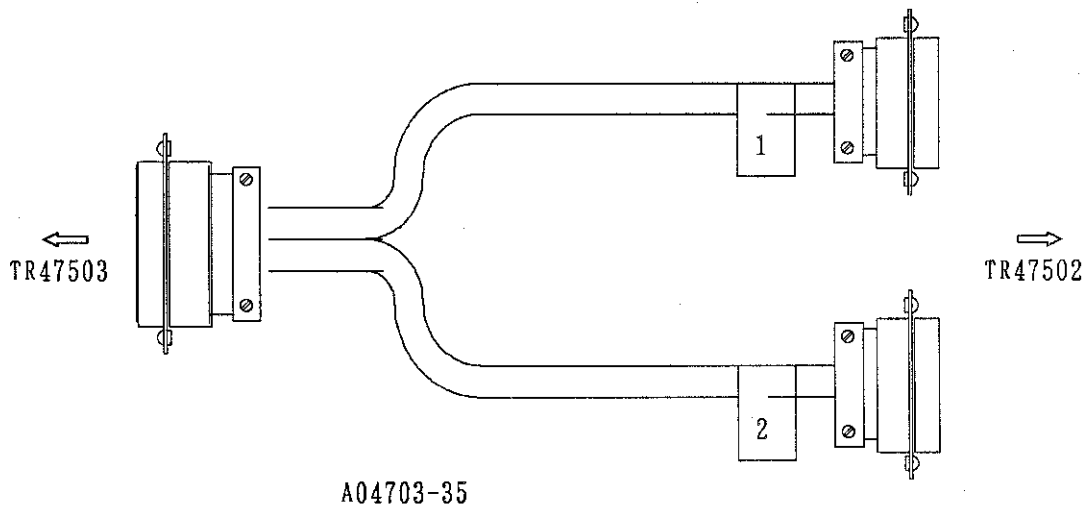
2.2.2 TR47502 用外部電源ケーブル信号対応表

(A) ストロープ用PS

TR47503 出力コネクタ			TR47502 PS入力コネクタ			コネクタNo.
ピン番号	ピン番号	信号名称	ピン番号	ピン番号	信号名称	
1	14	OUTPUT 1	1	9	PS-1	① ストロープ n ch PS 入力
2	15	GND	2	10	GND	
3	16	OUTPUT 2	3	11	PS-2	
4	17	GND	4	12	GND	
	22	LED 1	5		PLED 1	
	23	LED 2	6		PLED 2	
9		(GND) Not Use	7 ~ 8		Not Use	② ストロープ (n+1)ch PS 入力
10		(GND) Not Use	13 ~ 15		Not Use	
5	18	OUTPUT 3	1	9	PS-1	
6	19	GND	2	10	GND	
7	20	OUTPUT 4	3	11	PS-2	
8	21	GND	4	12	GND	
	24	LED 3	5		PLED 1	
	25	LED 4	6		PLED 2	
11		(GND) Not Use	7 ~ 8		Not Use	
12		(GND) Not Use	13 ~ 15		Not Use	
13		Not Use				

<25ピンDサブ・コネクタ>

<15ピンDサブ・コネクタ>



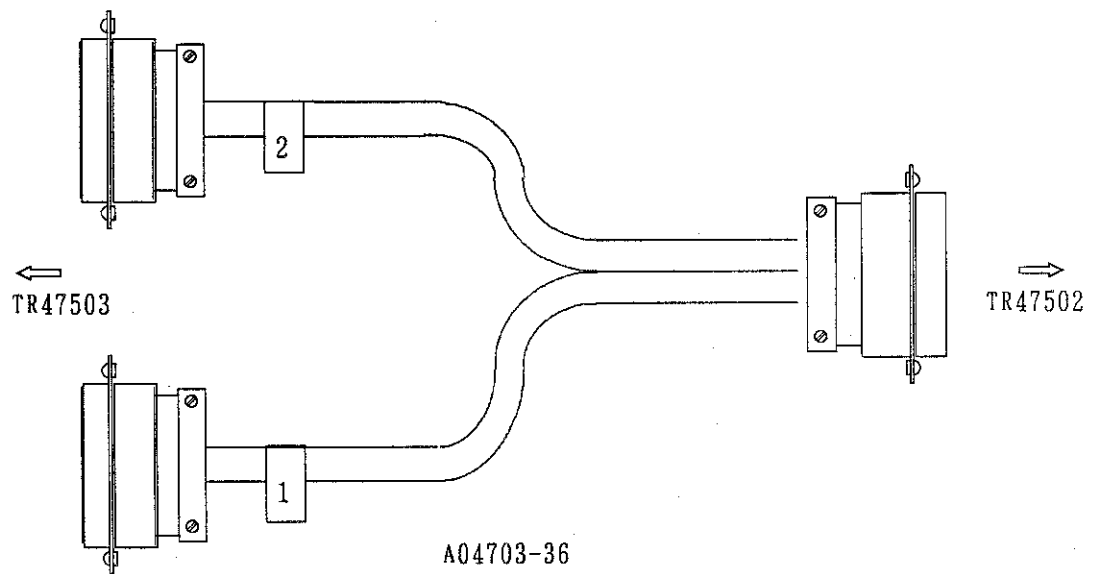
A04703-35

TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

2.2 出力コネクタ

(B) 2 値ドライバ用 PS

コネクタNo.	TR47503 出力コネクタ			TR47502 PS入力コネクタ	
	ピン番号	ピン番号	信号名称	ピン番号	信号名称
② DRV-01(n+1)ch PS入力	1	14	OUTPUT 1	1	PS-3H
	2	15	GND	2	GND
	3	16	OUTPUT 2	3	PS-3L
	4	17	GND	4	GND
	5	18	OUTPUT 3	5	PS-4H
	6	19	GND	6	GND
	7	20	OUTPUT 4	7	PS-4L
	8	21	GND	8	GND
	—	22	LED 1	9	PLED 3H
	—	23	LED 2	10	PLED 3L
	—	24	LED 3	11	PLED 4H
	—	25	LED 4	12	PLED 4L
			13	Not Use	
① DRV-01 nch PS入力	1	14	OUTPUT 1	14	PS-1H
	2	15	GND	15	GND
	3	16	OUTPUT 2	16	PS-1L
	4	17	GND	17	GND
	5	18	OUTPUT 3	18	PS-2H
	6	19	GND	19	GND
	7	20	OUTPUT 4	20	PS-2L
	8	21	GND	21	GND
	—	22	LED 1	22	PLED 1H
	—	23	LED 2	23	PLED 1L
	—	24	LED 3	24	PLED 2H
	—	25	LED 4	25	PLED 2L

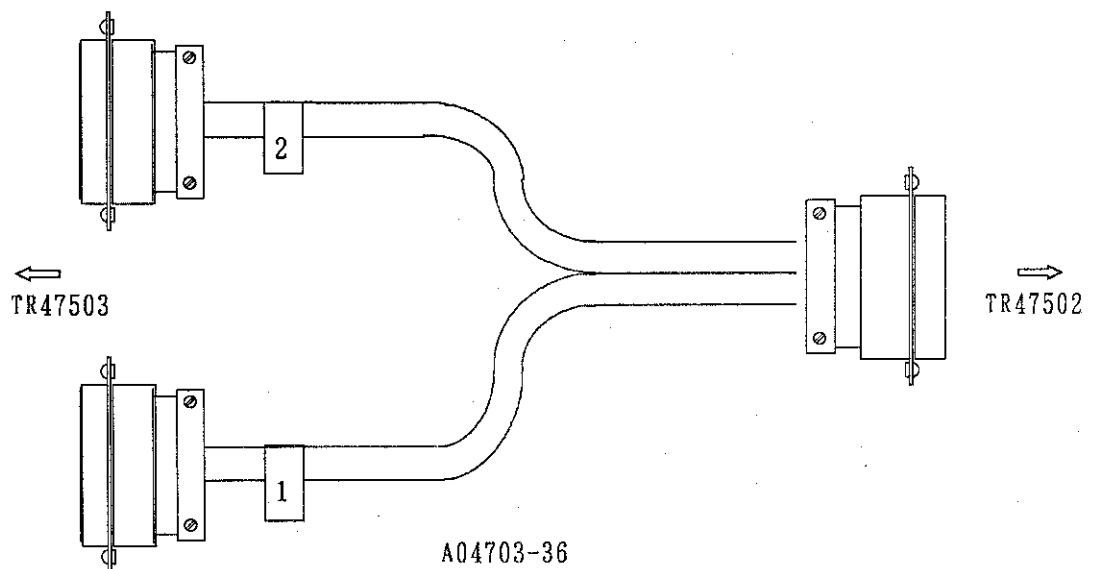


TR47503  
 パワー・サプライ  
 取扱説明書

2.2 出力コネクタ

(C) 3値ドライバ用PS

コネクタNo	TR47503 出力コネクタ			TR47502 PS入力コネクタ	
	ピン番号	ピン番号	信号名称	ピン番号	信号名称
② DRV-02 (n+1)ch 入力	1	14	OUTPUT 1	1	PS-2H
	2	15	GND	2	GND
	3	16	OUTPUT 2	3	PS-2M
	4	17	GND	4	GND
	5	18	OUTPUT 3	5	PS-2L
	6	19	GND	6	GND
	7	20	OUTPUT 4	7	Not Use
	8	21	GND	8	Not Use
	—	22	LED 1	9	PLED 2H
	—	23	LED 2	10	PLED 2M
	—	24	LED 3	11	PLED 2L
	—	25	LED 4	12	Not Use
① DRV-02 n ch 入力	1	14	OUTPUT 1	14	PS-1H
	2	15	GND	15	GND
	3	16	OUTPUT 2	16	PS-1M
	4	17	GND	17	GND
	5	18	OUTPUT 3	18	PS-1L
	6	19	GND	19	GND
	7	20	OUTPUT 4	20	Not Use
	8	21	GND	21	Not Use
	—	22	LED 1	22	PLED 1H
	—	23	LED 2	23	PLED 1M
	—	24	LED 3	24	PLED 1L
	—	25	LED 4	25	Not Use





## 2.3 操作

### 2.3.1 LED 表示

多チャンネル電圧源であるため、調整時の調整該当チャンネルを誘導するLED表示機能です。

出力コネクタの該当ピンとGND間を短絡することによりLEDを点灯させることができます。(コネクタ・ピン番号は〔2.2.1 出力コネクタ信号表〕を参照して下さい。出力電圧をDRVなど被測定回路に印加しながら電圧モニタ、調整する際の該当LEDを点灯させるように外部制御することにより有効に利用できます。

なお、TR47502を接続して使用する場合はモニタ部のDRVチャンネルと連動して、該当チャンネルのLEDが自動的に点灯します。

### 2.3.2 電圧調整A (MAIN ADJ)

出力電圧を電圧計によりモニタしながらフロント・パネル部の電圧調整用ツマミを回し、調整します。

10回転タイプのポテンション・メータを使用しています。これにより最大約 +20 V ~ -20 Vまで連続して自由に変更できます。

出力はフローティング方式のため、印加回路に対してシンク、ソース方向を気にすることなく接続、調整できます。

ツマミによる可変範囲を保護のために制限したい場合にはSUB ADJのボリュームで調節できます。

### 2.3.3 電圧調整B (SUB ADJ)

MAIN ADJの可変範囲を制限するためのものです。調整ボリュームはフロント・パネル面より奥に位置しており、マイナス・ドライバにて調整します。

MAINの可変範囲を、約±21 V~±14 Vまで制限刷ることができます。製品出荷時には±約20 Vに設定されています。通常は設定変更しないで下さい。

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

3. 点検、保管および輸送について

---

3. 保管および輸送について

3.1 保管

本器の保存温度範囲は-10℃～+60℃です。本器を長時間にわたって使用しない場合はビニールなどのカバーを被せるか、または段ボールに入れ、直射日光の当たらない乾燥した場所に保管して下さい。

3.2 輸送

本器を輸送される場合は最初にお届けしました梱包材料か、同等以上の梱包材料を使用して下さい。梱包材料をすでに紛失したときは5mm以上の厚さをもつ段ボール箱を用い、この段ボール箱の内側に緩衝材で本器をくるむようにして下さい。本機器を緩衝材でくるんだ後、付属品を入れ、再び緩衝材を入れて段ボール箱を閉じ、外側を梱包用ひもで固定して下さい。

#### 4. 性能諸元

- (1) 電圧出力 : 4チャンネル出力/1スロット  
15スロット実装 (最大60チャンネル)  
 $V_{IH}$ ,  $V_{IL}$ の2値ドライバ用電圧源として使用の場合  
2ドライバ分/1スロット  
 $V_{IH}$ ,  $V_{IM}$ ,  $V_{IL}$ の3値ドライバ用電圧源として使用の場合  
1ドライバ分/1スロット
- (2) 出力電圧範囲 (出力可変範囲) : 最大 約 $\pm 20$  V
- (3) 出力可変範囲制限 : 出力可変範囲を約 $\pm 21$  V $\sim$  $\pm 14$  Vに制限可能 (SUB ADJ)。  
出荷時には約 $\pm 20$  Vに設定
- (4) 出力電流制限 : 約100 mA
- (5) 方式 : シリーズ・レギュレーション・フローティング方式
- (6) 設定 : フロント・パネル部ツマミによるマニュアル設定  
10回転タイプ・ポテンション・メータ使用  
各出力ごとに単独設定
- (7) 設定分解能 : 100 mV
- (8) 設定確度 :  $\pm 100$  mV
- (9) 出力コネクタ : 25ピンD サブ・コネクタ  
4チャンネル出力/コネクタ  $\times 16$ コネクタ
- (10) 機能 : 調整チャンネル誘導用LED 表示  
TR47502 MOS ドライバと組み合わせた場合はモニタ・チャンネル対応の自動表示可能

## 5. 動作説明

ここでは、全体の機能・動作をブロック図で説明します。

### 5.1 全体の機能ブロック

TR47503 外部電圧源の動作を機能別に分解すると図のような構成になります。

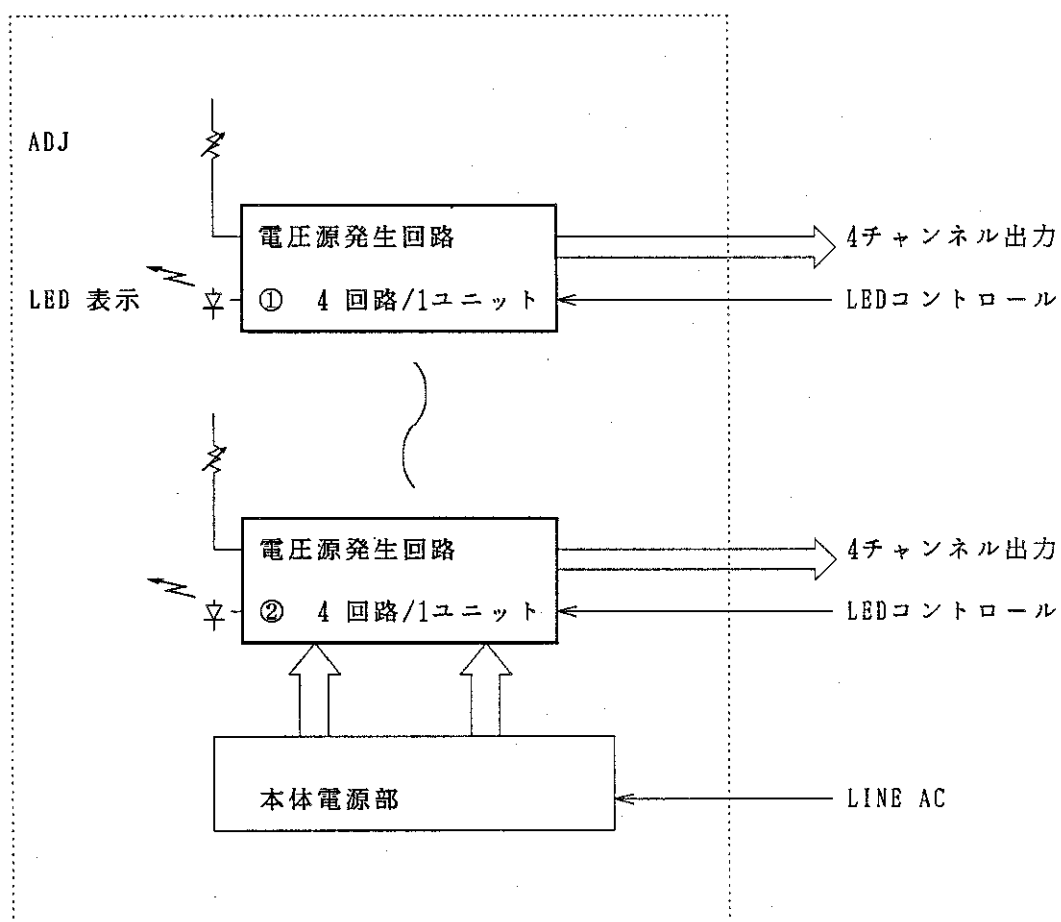


図 5-1 全体の機能ブロック図

5.2 電圧源発生ユニット・ブロック図

本器の基本ユニットである電圧源発生回路のブロック図を〔図 5-2〕に示します。この図に示しますように1チャンネル・1回路の電圧源発生回路が4回路、1つのユニット内に実装されています。本器はこのユニットが15ユニット実装され、トータル60チャンネル構成となっています。

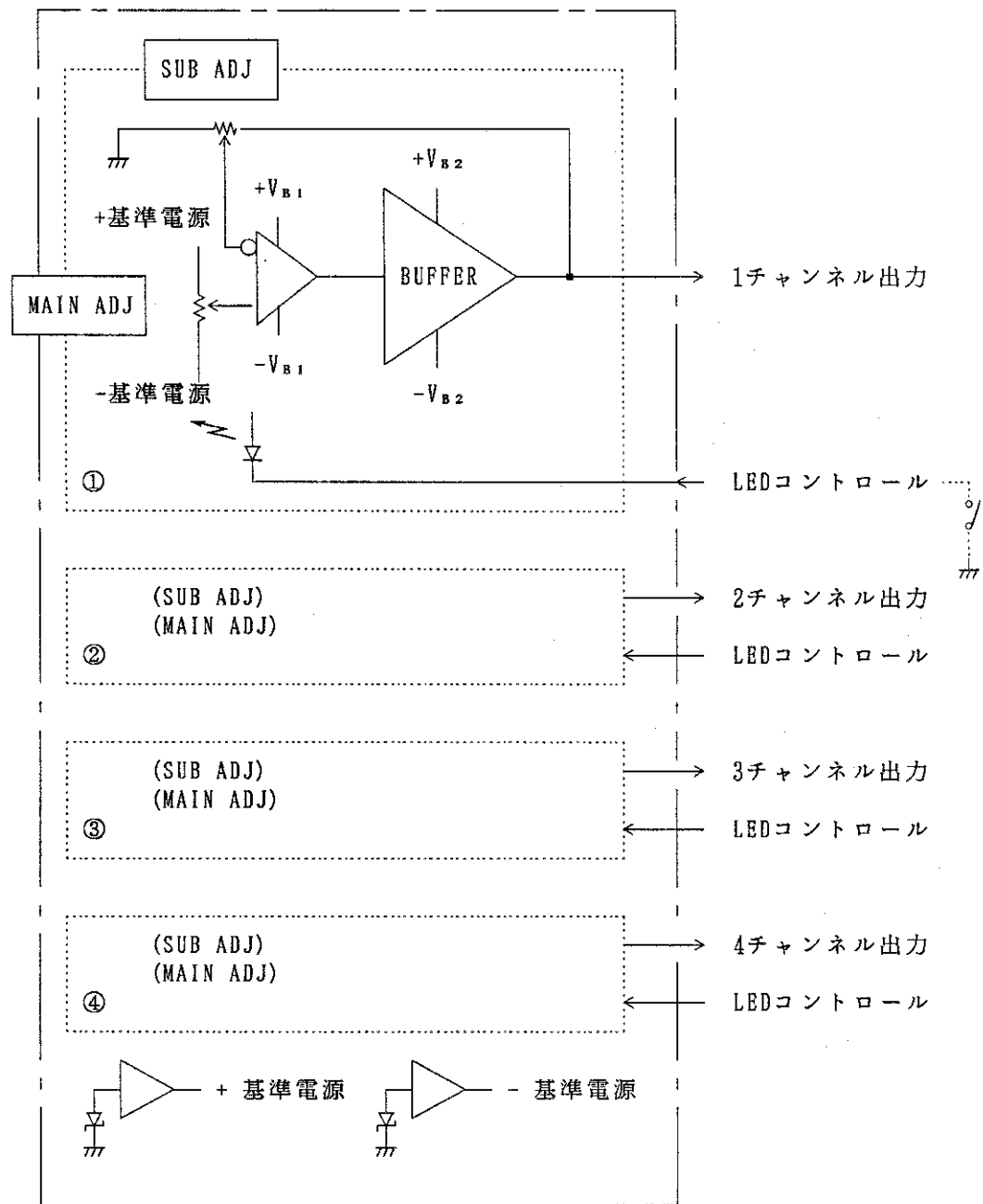


図 5-2 電圧源発生ユニット・ブロック図

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

図一覽

図一覽

図番号	表	題	ページ
図 1-1	DRV 外部電源コードA(A04703-35)の接続	.....	1 - 4
図 1-2	DRV 外部電源コードB(A04703-36)の接続	.....	1 - 5
図 1-3	電源ケーブルのプラグとアダプタ	.....	1 - 6
図 2-1	TR47503 正面パネル	.....	2 - 1
図 2-2	TR47503 背面パネル	.....	2 - 3
図 5-1	全体の機能ブロック図	.....	5 - 1
図 5-2	電圧源発生ユニット・ブロック図	.....	5 - 2

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

表一覧

表一覧

表番号	表	題	ページ
表 1-1	TR47503標準付属品	.....	1 - 3
表 2-1	出力コネクタ信号表	.....	2 - 4

TR47503  
パワー・サプライ  
取扱説明書

例一覧

例一覧

例番号	表	題	ページ
-----	---	---	-----

(例番号は取られていません。)



## 本製品に含まれるソフトウェアのご使用について

本製品に含まれるソフトウェア（以下本ソフトウェア）のご使用について以下のことにご注意下さい。

ここでいうソフトウェアには、本製品に含まれる又は共に使用されるコンピュータ・プログラム、将来弊社よりお客様に提供されることのある追加、変更、修正プログラムおよびアップデート版のコンピュータ・プログラム、ならびに本製品に関する取扱説明書等の付随資料を含みます。

### 使用許諾

本ソフトウェアの著作権を含む一切の権利は弊社に帰属いたします。

弊社は、本ソフトウェアを本製品上または本製品とともに使用する限りにおいて、お客様に使用を許諾するものといたします。

### 禁止事項

お客様は、本ソフトウェアのご使用に際し以下の事項は行わないで下さい。

- 本製品使用目的以外で使用する事
- 許可なく複製、修正、改変を行う事
- リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどを行う事

### 免 責

お客様が、本製品を通常の用法以外の用法で使用したことにより本製品に不具合が発生した場合、およびお客様と第三者との間で著作権等に関する紛争が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

# 保証について

製品の保証期間は、お客様と別段の取り決めがある場合または当社が特に指定した場合を除き、製品の納入日(システム機器については検取日)から1年間といたします。保証期間中に、当社の責めに帰する製造上の欠陥により製品が故障した場合、無償で修理いたします。ただし、下記に該当する場合は、保証期間中であっても保証の対象から除外させていただきます。

- 当社が認めていない改造または修理を行った場合
- 支給品等当社指定品以外の部品を使用した場合
- 取扱説明書に記載する使用条件を超えて製品を使用した場合(定められた許容範囲を超える物理的ストレスまたは電流電圧がかかった場合など)
- 通常想定される使用環境以外で製品を使用した場合(腐食性の強いガス、塵埃の多い環境等による電気回路の腐食、部品の劣化が早められた場合など)
- 取扱説明書または各種製品マニュアルの指示事項に従わずに使用された場合
- 不注意または不当な取扱により不具合が生じた場合
- お客様のご指示に起因する場合
- 消耗品や消耗材料に基づく場合
- 火災、天変地異等の不可抗力による場合
- 日本国外に持出された場合
- 製品を使用できなかったことによる損失および逸失利益

当社の製品の保証は、本取扱説明書に記載する内容に限られるものとします。

## 保守に関するお問い合わせについて

長期間にわたる信頼性の保証、国家標準とのトレーサビリティを実現するためにアドバンテスでは、工場から出荷された製品の保守に対し、カスタム・エンジニアを配置しています。

カスタム・エンジニアは、故障などの不慮の事故は元より、製品の長期間にわたる性能の保証活動にフィールド・エンジニアとしても活動しています。

万一、動作不良などの故障が発生した場合には、当社のMS(計測器)コールセンターにご連絡下さい。

## 製品修理サービス

- **製品修理期間**  
製品の修理サービス期間は、製品の納入後10年間とさせていただきます。
- **製品修理活動**  
当社の製品に故障が発生した場合、当社に送っていただく引取り修理、または当社技術員が現地に出張しての出張修理にて対応いたします。

## 製品校正サービス

- **校正サービス**  
ご使用中の製品に対し、品質および信頼性の維持を図ることを目的に行うもので、校正後の製品には校正ラベルを貼付けし、品質を保証いたします。
- **校正サービス活動**  
校正サービス活動は、株式会社アドバンテス カスタマサポートに送っていただく引取り校正、または当社技術員が現地に出張しての出張校正にて対応いたします。

## 予防保守のおすすめ

製品にはエレクトロニクス部品およびメカニカル部品の一部に寿命を考慮すべき部品を使用しているため、定期的な交換を必要とします。適正な交換期間を過ぎて使用し発生した障害に対しては、修理および性能の保証ができません場合があります。

アドバンテスでは、このようなトラブルを未然に防ぐため、予防保守が有効な手段と考え、予防保守作業を実施する体制を整えています。

各種の予防保守を定期的実施することで、製品の安定稼働を図り、不意の費用発生を防ぐため、年間保守契約による予防保守の実施をお勧めいたします。

なお、年間保守契約は、製品、使用状況および使用環境により内容が変わりますので、最寄りの弊社営業支店にお問い合わせ下さい。

# ADVANTEST

<http://www.advantest.co.jp>

## 株式会社アドバンテス

本社事務所  
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング  
TEL: 03-3214-7500 (代)

第4アカウント販売部(東日本)  
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング  
TEL: 0120-988-971  
FAX: 0120-988-973

第4アカウント販売部(西日本)  
〒564-0062 吹田市垂水町3-34-1  
TEL: 0120-638-557  
FAX: 0120-638-568

### ★計測器に関するお問い合わせ先

(製品の仕様、取扱い、修理・校正等計測器関連全般)

MS(計測器)コールセンタ ☎ TEL 0120-919-570  
FAX 0120-057-508

E-mail: [icc@acs.advantest.co.jp](mailto:icc@acs.advantest.co.jp)